



●第2章 復旧・復興の足跡

「迅速かつ着実に—明日へ」



利根川堤防の仮復旧

栄町の北を流れる大利根川。東日本大震災はこの利根川堤防に大きな爪跡を残しました。

利根川下流河川事務所管内の護岸での被災箇所数と延長は千葉県16箇所、3.5キロメートル、対岸の茨城県では9箇所、3.4キロメートルに及びました。

まずは、出水期（集中豪雨や台風などにより洪水が起こりやすい時期＝6月1日～10月31日）に入るまでの短期間で作業を完了させる必要性から、被災後すぐに応急的な工法で復旧工事が行われました。三和地先、中谷地先、請方地先で行われた緊急災害復旧工事により、利根川堤防は、ブルーシートと土のうの列が続く景観へと一変しました。



利根川堤防の本復旧

2012年1月から、利根川の堤防では本格復旧工事に入りました。堤防への浸水を防ぐための鋼矢板の打ち込み、のり面の盛り土や護岸ブロック、根固めブロックの設置などの工事で、5月末まで続く予定です。

3月1日付けの朝日新聞では「栄町では、約1キロにわたり、高さ約10メートルの堤防が陥没し、堤防の土砂が住宅地側に流れ込んだ。同町によると、付近の15戸が全半壊した。(中略)同町中谷の農業女性(61)の自宅母屋は、家が傾き、全壊認定を受けた。少しずつ取り壊し、今年に入ってようやく更地にした。家族5人は今、離れて生活しているが、母屋を建て替えるめどは立たないままだ。」と報じています。



道路の復旧

栄町における道路の被害状況は、国道と県道が各1箇所、町道が59箇所にとどまり、通行止め措置がとられ場所も少なくありません。被災後すぐに緊急対策作業、補修作業等が行われました。



北地区緊急対策作業



安食1丁目石井接骨院前緊急対応状況



大芝土手前新田浄水場付近の道路亀裂と緊急対応状況



南地区無名橋付近の緊急対応状況



豊年橋付近の道路陥没と緊急対策作業



立嶋地区道路補修状況



南ヶ丘1丁目星野宅前緊急対応状況





いまだ復旧工事が続く水と緑の運動広場

公園・緑地、公共施設の復旧

被害は、私たちに身近な施設にも及びました。野球場やテニスコート・多目的広場などがある水と緑の運動広場は大きな被害を受け、今も復旧工事が続いています。将監川に隣接する南ヶ丘地区では湖沼緑地に陥没が発生、緊急復旧工事が行われました。また、ふれあいプラザさかえも被災により一時期利用が制限されていましたが、復旧工事も終了して再開しました。残念ながら、安食にあった旧保健センターは被災により取り壊しとなりました。



南ヶ丘地区の湖沼緑地

ふれあいプラザさかえ